

# 場所はいつも旅先だった

*If you were there*



そこには何があるのだろう。  
そこにはどんな人が暮らしているのだろう。  
どんなしあわせや、  
どんなほんとうがあるのだろう。

本作はエッセイスト・書店オーナーなど様々な肩書きを持つ松浦弥太郎が初めて監督した劇場用映画。2011年に著した旅にまつわる自伝的エッセイ集「場所はいつも旅先だった」と同名のタイトルながら、内容は映画オリジナルで一本のドキュメンタリーとして新たに生まれ変わった。ロケ地に選んだのは、サンフランシスコ（アメリカ）、シギリア（スリランカ）、マルセイユ（フランス）、メルボルン（オーストラリア）、台北・台南（台湾）の世界5カ国・6都市。いずれも「現地の人々の日常の営みを感じられる」からと、撮影は主に早朝と深夜に行った。旅先での数々の出会いとかけがえのない日々を、飾らない言葉でひとつひとつ綴るエッセイ集のような作品が誕生した。なお、朗読で脚本家・演出家の小林賢太郎が参加し主題歌にはアン・サリーによる「あたらしい朝」が使用されている。



## DVD販売中



### 『場所はいつも旅先だった』

PORT1029/2021年・日本 / 78min / 16:9 / カラー  
企画・製作・配給 | ポルトレ

#### 利用範囲



価格 18,000 円（税抜）

上記許諾に加え、団体貸出権付き

価格 54,000 円（税抜）

監督 | 松浦弥太郎

朗読 | 小林賢太郎 主題歌 | アン・サリー『あたらしい朝』

監督補 | 山若マサヤ 撮影 | 七咲友梨 録音 | 丹雄二 編集 | 内田俊太郎

制作進行 | 門嶋博文 デザイン | 滝谷萌夏 プロデューサー | 石原弘之

©Mercury Inspired Films LLP



### 『74歳のペリカンはパンを売る』

PTR0001/2017年・日本  
80min / 16:9 / カラー（一部モノクロ）

製作 | ポルトレ



価格 18,000 円（税抜）

上記許諾に加え、団体貸出権付き

価格 54,000 円（税抜）



### 『シンプルギフト～はじまりの歌声～』

2017年・日本  
90min / 16:9 / カラー  
製作 | 2s Inc. 配給 | ポルトレ/ニッセンジャパン

#### 利用範囲



価格 20,000 円（税抜）

上記許諾に加え、団体貸出権付き

価格 60,000 円（税抜）